



平成 19 年 10 月 11 日

各 位

会 社 名 **株式会社データ・アプリケーション**
代表者名 代表取締役社長 橋 本 慶 太
(コード番号 : 3848)
問合せ先 取締役経営企画管理本部長 長 井 定 一
(電話 : 03-5640-8540)

平成 20 年 3 月期 中間業績予想 (連結・単独) の修正に関するお知らせ

当社は、平成 19 年 7 月 31 日「平成 20 年 3 月期 第 1 四半期財務・業績の概況」において発表いたしました平成 20 年 3 月期 (平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日) 中間期の連結業績予想および平成 19 年 5 月 11 日「平成 19 年 3 月期 決算短信 (非連結)」において発表いたしました平成 20 年 3 月期 (平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日) 中間期の単独業績予想につきまして、下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

I. 平成 20 年 3 月期 中間期 連結業績予想の修正

(1) 中間期 連結業績予想 (平成 19 年 4 月 1 日～平成 19 年 9 月 30 日)

(単位 : 百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	中 間 純 利 益
前回発表予想 (A)	755	4	△16	△18
今回修正予想 (B)	754	25	5	△6
増 減 額 (B - A)	△1	21	21	12
増 減 率	△0.1%	525.0%	—	—
(ご参考) 前中間期実績	—	—	—	—

※平成 19 年 6 月より株式会社コンプレオを子会社として連結会計を開始しているため、前中間期の連結実績はありません。

(2) 修正理由

当中間期におきましては、次世代 EDI の需要を背景に戦略製品「ACMS E²X」の販売は堅調に推移しましたが、既存製品「ACMS B2B」の売上高の伸び悩み等の要因がありました。しかしながら、当社子会社で汎用ワークフローソフトウェアやネットワーク機器テスト自動化ソフトウェアを販売する株式会社コンプレオの売上高は前回予想を上回る見込みとなり、連結売上高は、ほぼ計画通り 754 百万円 (前回予想比△1 百万円、0.1%減少) の見込みであります。

利益につきましては、子会社の売上高増加を主要因としまして、営業利益が 25 百万円 (前回予想比+21 百万円、525%増加)、経常利益が 5 百万円 (前回予想比+21 百万円)、中間純利益が△6 百万円 (前回予想比+12 百万円) となる見込みであります。

II. 平成 20 年 3 月期 中間期 単独業績予想の修正

(1) 中間期 単独業績予想 (平成 19 年 4 月 1 日～平成 19 年 9 月 30 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益
前回発表予想 (A)	746	46	22	7
今回修正予想 (B)	718	47	27	8
増減額 (B - A)	△28	1	5	1
増減率	△3.8%	2.2%	22.7%	14.3%
(ご参考) 前中間期実績	663	101	101	66

(2) 修正理由

当中間期におきましては、次世代 EDI の需要を背景に戦略製品「ACMS E²X」の販売は堅調に推移しましたが、既存製品「ACMS B2B」の売上高の伸び悩み等の要因もあり、売上高は 718 百万円（前回予想比△28 百万円、3.8%減少）となる見込みであります。

利益につきましては、売上原価率の当初計画からの改善や一般管理費の統制等により、営業利益が 47 百万円（前回予想比+1 百万円、2.2%増加）、経常利益が 27 百万円（前回予想比+5 百万円、22.7%増加）、中間純利益が 8 百万円（前回予想比+1 百万円、14.3%増加）となる見込みであります。

なお平成 20 年 3 月期 通期の連結および単独業績予想につきましては、平成 19 年 5 月 30 日に公表した予想に変更はありません。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

以 上